

豊剣会だより

(表題字・中9 榎原 武雄氏)

大芝氏、新会長に就任。そのご挨拶をご紹介します。

「新会長に就任して」

高13期 大芝 利文

平成12年6月に、豊中高校から春日丘高校定時制教頭に異動された高田裕文先生(高20期、豊剣会会員、前豊高剣道部顧問)の激励会の席上、前会長の西村淳一様(中14期)から「豊剣会の会長をせよ」と、ご指名を受けました。住まいが兵庫県三木市・勤務先が神戸市と、豊中から離れている事情もあり、お断りしたのですが、豊剣会の実務は、今回事務局長に就任された松村栄太郎様(高18期)と、高田先生が引き続きやって下さるとのことなので、結局お引き受けすることになりました。

豊剣会会長としては、初代の故中務秀夫様(中7期)・2代目の西村様に続き、私で第3代目になります。ご承知のとおり、両先輩は永年に渡り、物心共に豊剣会と豊高剣道部のために、大いに尽力されました。その跡を継ぐ若輩者の私が、皆様にどれ程の力添えができるか自信ありませんが、皆様のご協力を得て、この大役を果たしてまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、毎年3月の最終週の日曜日に行われる「豊剣杯争奪大会」も、今年で第7回目を迎えます。この「大会」は、前半が松村・高田両氏を実行委員長とし、前年度卒業生によって企画・運営されている剣道大会であります。現役の剣道部員とOBとの交流の場として、これからも大切に育ててゆきたいと考えております。また、「大会」の後半には豊剣会総会と懇親会が開かれます。この一連の行事は、現役と豊中・豊高OBの親睦を図る場として、欠かすことができないものとなってきております。最近、若手OBの出席が多くなり、常に40名を越える参加数となっていることは、心強いばかりです。今後とも1人でも多く、先輩方のご参加をお待ちいたしております。もちろん、現在剣道から遠ざかっている方も多数おられると思いますが、在学中に部活動を共にした仲間として、里帰りのつもりで、ご参加いただければ幸いです。

また、現役との交流の場としては夏の合宿があります。高田先生のご異動後、豊高職員で剣道実技の指導者はおられないようです。これまで、西村様・豊田俊一様(中21期)・大芝信雄様(高16期)など、豊剣会の一部有志のご参加によって、合宿での指導が行われてまいりましたが、本件につきましては今後、現在剣道を続けられている先輩方のご協力を、是非ともお願いしたいと存じます。

お願い事が先になりましたが、豊剣会並びに豊高剣道部の更なる発展のためには、是非とも豊剣会諸兄のご協力が必要なため、一筆啓上申し上げまして、新会長就任のご挨拶とさせていただきます。

第7回豊剣杯争奪大会及び懇親会のご案内

毎年3月最後の日曜日に実施している、豊剣杯争奪大会及び懇親会も、今回で第7回目を迎えることとなりました。参加者も年々増加し、昨年の第6回は60数名を数えるに至りました。今後も、豊高剣道部OB[豊剣会会員]相互、並びにOBと現役部員の交流の場として、参加者がますます増えることを願っております。現在剣道をしておられない方も、剣道部の同窓会のつもりで、ふるってご参加下さるようお願い申し上げます。

第7回の実施要項を、以下のように決めましたので、同期の方をお誘いのうえ、参加の申し込みをお願いいたします。

- 1 日時 3月25日(日)
- 2 場所 争奪大会;豊高柔剣道場 懇親会;さがみ
- 3 会費 一般 3,000円 学生 2,000円
- 4 申込先[準備の都合上3月18日で締め切らせていただきます]
* 参加される方は、下記事務局の高田宛、できるだけハガキまたは、下記メールアドレス宛Eメールでご返事ください。下記電話番号へ出欠のご連絡をいただいても結構です。
〒563-0105 大阪府豊能郡豊能町新光風台2-5-21
TEL 0727-38-5433 5-21-9
メール houkenkai@hotmail.com
- 5 実施スケジュール
11:00~ 受付 開始 [体育館1階入口にて]
11:30 豊高柔剣道場に集合
12:15 開会式
12:30 試合 開始、その後 練習
15:30 閉会式 終了
[さがみ(学校から歩5分・梅花高校東北向い)へ移動]
16:00 懇親会 開始
17:30 懇親会 お開き

西村氏、会長職を高校13期の大芝氏に託す。前会長のご挨拶をご紹介します。

「会長退任のご挨拶」

中学14回 西村淳一

豊剣会創始者である中務秀夫(中7回)が、体調を崩され、「誰か会長を代わってほしい」との要望は、随分以前からあった。しかし何と言っても伝統を持つ剣道部OB会の、平成4年に「高校期へのバトンタッチまで」という条件で、私がお引き受けせざるを得ない状況となってしまった。幸い、中学出・高校出の有志の皆様のご支援もあり、何とか出発したわけである。

私の試行錯誤のため(例えば高校出身者への移行を急ぎすぎた)、折角の豊中市剣道協会加入による、青少年剣道大会初出場(3チーム)で、2位の成績を残した華々しい進出も、翌年から面倒を見るものがないために(特に、高37期の加藤隆昭氏の東京への移転による)、線香花火と終わってしまった。

母校剣道部夏期合宿へ、高校出身者を誘い参加してもらおう試みも、大学在学中しか参加できないことが分かり、これも尻切れトンボに終わってしまった。結局、今まで通り中学出が中心とならざるを得ない状況となったが、一部高校出身者の関心を得ることはできたと自負している。幸いなことに、私と時期を同じくして、高田裕文氏(高20期)が母校社会科教諭として赴任され、剣道部顧問として落ち着かれたことで、非常な励みとなった。「よし、これで高校出身に早く切り替えができるぞ」と思ったものの、世の中はそう甘くなく、1つがうまくいっても、全体が纏まらないジレンマに陥りながらも、逐次、高校出身者が全面運営する「豊剣会」の出現は、そう遠くないと確信を持つようになった。

夏期合宿にしても、実際に参加していただいた次の方々には、本紙を借りて厚くお礼申し上げます。谷口真澄氏(中19期)・豊田俊一氏(中21回)・豊田氏は毎年始めから終わりまで、部員の指導をしていただいたうえ、現在もお世話になっている。今西春禎氏(高7期)・近久智彦氏(高10期)・近久氏には「会報」発行に当たり随分お世話になった。大芝信雄氏(高16期)・毎年、遠く横浜から合宿に駆けつけていただき、部員の指導にあたっていただいている。加藤隆昭氏(高37期)・友井毅氏(高38期)・その他多くの先輩が合宿に参加された。

ただ、従来の「豊剣会総会」に代わる、春休みを利用した「中務杯争奪OB大会」は、第1回を平成7年3月26日に、母校剣道場で行い、故川上先生・井坂先生・中務先輩の遺徳を偲んで、黙祷を捧げた後、今西春禎氏提供の、北摂古武道会師範の先生方による、二天一流の形の演武があり、その後試し切りの場も設けて下さり、会場は時ならぬ拍手と和気あいの雰囲気にあふれた。中務・井坂両先生のご遺影の前で繰り広げられた「豊剣杯争奪戦」は、12チームが予選と決勝トーナメントの熱戦を展開、声援飛び交う中で若さと活気あふれる雰囲気に包まれ、時間がずれ込んだ合同稽古にも熱が入った。井坂先生の奥様をして「久しぶりに竹刀の音を聞いて、元気が出てきました」と漏らされたお言葉が、とても印象に残った。何しろ、初回の事として不手際もあったが、盛会裡に無事終了できた。これは、二天一流演武を提供してくれた今西氏の絶大な支援のお陰であり、厚くお礼申し上げたい。と共に、その後の第2回目以降の「OB大会」に期待を寄せたものである。

その期待通り、「OB大会」も本年で第7回目を迎え、どうやら定着した模様で、ホッとしている。この「OB大会」は1年1回の実施だが、若い会員(女子会員の顔も見られる)を中心とした楽しい親睦の場となっていることは、誠に喜ばしい限りである。

試行錯誤の「西村会長」も、いつの間にか9年間のお勤めとなり、患っている関節炎も数年前より歩行困難を来すに至り、これ以上の会長職は、いくら口で誤魔化しても無理となり、今回、大芝利文氏(高13期)に会長職をお願いしたわけである。大芝利文氏は、以前から合宿に参加してくれている大芝信雄氏の実兄で、兄弟共に豊高・関学大で、故井坂先生(当時、先生は関学大剣道部の師範であられた)の愛弟子であった。どうやら、試行錯誤した「西村会長」も、最後には井坂先生の導きとしか思いようのない、良い会長を見つけたと喜んでいる。これで名実共に高校出身者運営の「豊剣会」となりそうだ。

最後に、9年間の永きにわたり不肖私を、支持・支援して下さいました先輩諸兄はじめ、会員の皆様方に厚くお礼を申し上げ、母校はじめ剣道部・豊剣会の益々の発展を心から祈り、ご挨拶といたします。

平成12(2000)年度剣道部合宿

—奥神鍋の自然の中で—

豊中高校剣道部顧問 山崎 一

2000年度の剣道部合宿は、7月30日(日)から8月2日(火)までの3泊4日の日程で実施されました。場所は昨年と同じ奥神鍋。ここは、道場として使うにはちょうどよい広さの体育館(競技センター)が宿舍の目の前にあり、絶好のロケーションです。別に公営の大きな体育館があるため、こちらの方は独占状態で、朝から夕方まで竹刀の音と元気のよい声が響きわたりました。

今年の参加は、男子11名・女子15名の計26名。講師は、このところずっとお世話になっている豊田俊一先輩。引率に顧問の鍛冶禮子先生もお願いして、総勢29名で臨んだ4日間でした。万一のことを考えて、今年からバドミントン部(大きい体育館で練習)と同じ日程とし、何かの時にはそれぞれの顧問同士が相互に協力しあう体制をとりました。幸い、病気や怪我等もなく、生徒は楽しくかつ充実した日々を送ることが出来たようです。

合宿の"名物"は、3日目の夜に行われる1年生部員の「隠し芸大会」です。今年もユニークな出し物が用意され、一同が笑い転げる一幕もあって、大いに盛り上がりました。そして、最終日は合宿の成果を試す「練習試合」。勝敗の行方だけでなく、この合宿で身につけたことが、実践でどの程度使えるのかが気になるところです。きっと生徒個々人が、確実な手ごたえを感じて、この合宿を終えたことでしょう。

このような、剣道部の伝統とも言える、有意義な合宿が実施できるのは、言うまでもなく「豊剣会」の皆様方のご助力があつてのことです。私たちは、皆様の"熱い想い"を大切にしつつ、豊高剣道部をさらに発展させて行きたいと思っております。今後ともよろしくご支援下さいますようお願い申し上げます。

2001年度の合宿も、7月末から8月初旬にかけての時期に、今年と同じ奥神鍋で実施する予定です。奥神鍋は豊かな自然が残る所で、近くには天然温泉施設「ゆとろぎ」もあります。よろしければ、仕事や学業の息抜きにおいでになりませんか。そして、竹刀を持って直接後輩達を指導していただければ、この合宿がさらにパ平成ワープアップすることでしょう。生徒共々首を長くしてお待ちしています。

豊高剣道部の活動

平成11年度は、11月3日に実施された新人大会で、女子が団体で高槻北高等学校・高槻南高等学校を連覇し、11月21日の中央大会に進出した。

翌平成12年度の6月4日に実施された全国高等学校では、男子団体1回戦で三島高等学校を3対1で破ったが、2回戦で強豪大商学園と対戦し、1対1の接戦を演じたが、惜しくも技数で破れた。また、8月17日に実施された大阪高等学校総合体育大会では、女子団体で、1回戦梅花高等学校を2対1、2回戦枚方高等学校を2対1で、3回戦千里高等学校を3対1で破るなど、大活躍した。11月3日の新人大会では、男子団体で、1回戦渋谷高等学校を3対0で破ったが、関大一高に2対0で敗れた。女子団体も、1回戦春日丘高等学校を2対1で、2回戦少路高等学校を2対0で、3回戦北野高等学校を3対1で連覇したが、5回戦強豪千里高等学校に1対0で惜敗した。同大会の個人戦でも、村井が3人を破る快挙を遂げた。一方、11月19日の中央大会に進出した、女子の団体は太成高等学校に、個人戦の村井は摂津高等学校に惜しくも敗れた。

平成12年度の北摂学校剣道大会は、1回戦で男子団体が摂津高等学校を破ったが、2回戦大商学園に惜敗した。女子も、1回戦北千里を一方的に破ったが、2回戦芥川高等学校に惜敗した。

このように、各大会でしばしば好成績をおさめたのも、部員の日頃のたゆまぬ練習の成果でもあるが、夏期合宿などで先輩諸氏の技術指導等のお陰である。

豊剣会会計報告(平成12.4.1~13.2.20現在)

(収入の部)

1 前年度繰越金	230,405.-
2 「高田先生を囲む会」会費	98,000.-
合計	328,405.-

(支出の部)

1 剣道部合宿援助費	100,000.-
2 「高田先生を囲む会」費用	97,025.-
3 豊陵会名簿への広告掲載費	20,000.-
4 会議費	6,300.-
5 慶弔費	10,500.-
6 次年度繰越金	94,580.-
合計	328,405.-

(注)① 平成11年度は「豊剣会だより」が発行できませんでしたので、平成12年度における会費・協力金の振り込みがありませんでした。

(注)② また、「豊剣杯争奪大会」のあと行われていた「懇親会」は、昨年までは豊高内で実施したため、会費の範囲でおさまる場合もあり、昨年は豊剣会からの支出はありませんでした。しかし今回の「懇親会」からは豊高を使用できなくなったため、外部で実施せざるを得ず、それに伴って豊剣会からの援助金が必要となる見込みです。

協力金のお願ひ

日頃は、豊剣会へ色々のご協力を頂き有り難うございます。

豊剣会は、(ア)豊高剣道部OB・現役部員の交流と、(イ)現役部員への支援を目的に組織されたもので、その運営は、皆様からの会費・協力金で賄われております。

それらの資金は、(ア)については、毎年3月下旬に実施している「豊剣杯争奪大会と懇親会」への援助、皆様にお送りしている「豊剣会だより」の発行費用、慶弔費等に使われております。また(イ)については、夏期合宿への援助金等として、剣道部員の技術向上のために活用されております。

従って、毎年皆様からお送りいただく会費・協力金が途絶えることは、伝統ある豊高剣道部の、世代を越えた交流を絶やすことにつながると申して過言ではないと考えます。

どうかその点をお汲み取りいただき、同封の振り込み用紙にて、多大のご協力をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

また、母校近くにお住まいの方は、3月下旬の「豊剣杯争奪大会及び懇親会」にご参加いただくようお願いいたします。

遠方の方は、豊剣会事務局宛に近況をお知らせ下されば、次号の「豊剣会だより」に掲載させていただきますので、音信の途絶えた同期や先輩・後輩との交流復活のきっかけになると思います。

会費・協力金へ協力いただいた方

[紙面の都合で、平成9・10・11年度分を掲載いたします。五十音順で敬称略。()内は旧姓。万一、掲載漏れ、誤字等がありましたらお許しください。]

秋山 勇、荒川 拓、石井健稔、石橋一雄、今泉佐知子、今西春禎、岩崎繁男、上田泰章、上原伸一、榎原武雄、大久保勉男、大芝信雄、大芝利文、岡田齋孝、奥田福三、笠野(高井)尚子、加藤芳哉、北村 勤、薦田巖男、小山善基、佐久 博、桜井(白石)愛子、佐藤 功、佐藤美智子、佐野 浩、塩崎一弘、塩見雅人、島居俊郎、菅原十三秋、杉浦嘉人、世古信三、曾和昭文、田中乙菜、田中(中川)邦喜、田中孝姫、谷口真澄、玉城哲一、筒井 修、徳田迪夫、刀禰晴雄、土肥通夫、友井 毅、内藤伸夫、永岡 賢、中島 巖、灘上順之助、灘上哲之助、並河徹也、西尾正寿、西岡(加藤)尋子、西崎(高木)佳子、西村淳一、丹羽太貴、沼野慶子(夫の故晋一良氏の中学時代を偲び)、練木昌三、芳賀 洋、馬場也須子、林 正憲、福田和弘、藤野(鶴川)隆世、藤原 顕、前川昌三、松枝由実子、松原基夫、水野貴夫、三宅次郎、宮崎(上島)善昭、森川五郎、吉村克彦、吉矢和彦、米谷 孝、渡瀬健二、

第1~7回豊剣杯争奪大会及び懇親会参加者のご紹介(敬称略。万一、掲載漏れがある場合、誤字のある場合はご容赦ください)

中9; 榎原武雄。中10; 薦田巖男・温品正夫。中14; 西村淳一。中16; 秋山勇。中21; 豊田俊一。中22; 宮崎義昭・佐藤功。高7; 今西春禎。高10; 近久智彦・牧野芳治。高13; 大芝利文。高16; 大芝信雄。高18; 大崎敏雄・松村栄太郎。高19; 松原基夫。高20; 高田裕文。高29; 並河徹也。高34; 世古信三。高36; 炭田耕次。高37; 大森一夫・曾和昭文。高43; 石塚佳久・岡本研太郎・平岡幹朗・皆川真寛。高44; 糸永佳正・平岡巳和。高45; 富澤和彦・森浩介・阿古裕美。高46; 天満俊秀・広田修一・守屋研一郎・石田正樹。高46; 渡部義久。高47; 若泰典・稽古庵総志・野田義晴・吉田淳一・上田千尋・南葉子・大澤奈保子。高48; 光久広志・長瀬享・梅山孟人・新開健太郎・高橋良・木村麻子・松本朋子・吉田基子・中原久美。高49; 皆川真崇・吉賀緑・大森久美子・坂本裕貴・小山卓也・福岡大輔・門脇真一・矢野倫太郎・尾久土寛・岸本かおる・為平隆治・豊田真介・福岡典子・寺谷俊美。高50; 野矢士朗・三坂裕子・原野真理子・俣野成信・木下佳子・前田順史・石田拓司・加藤信幸・森山佳奈・矢田亜希子。高51; 酒井千菜・中紀貴・岡あゆみ・鳥香苗・中野仁志・石井佑可子・森山雄太郎・横山友美・中野咲・鈴木麻衣子。高52; 小澤葵・梅島慎吾・小野瀬智・依田美美・木曾潤子。